

6月20日は「世界難民の日」です 国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）×横浜市 「難民を支える自治体ネットワーク」（Cities #WithRefugees）に加盟します

横浜市は、ピースメッセンジャー都市として、国際社会の平和と繁栄に向けて、国際事業に取り組んでいます。令和4年度からは、姉妹都市であるウクライナのオデーサ市への支援として、ウクライナからの避難民の受入や現地の人道支援にも注力しています。昨年11月には、フィリップ・グランディ国連難民高等弁務官が横浜市を訪問され、ウクライナ避難民支援の取組を視察されました。

横浜市は、国連難民高等弁務官事務所（以下、「UNHCR」という。）と連携し、SDGsで掲げる「誰一人取り残さない」世界の実現を目指すため、UNHCRのグローバルキャンペーン「難民を支える自治体ネットワーク Cities #WithRefugees（シティーズ・ウィズ・レフュジーズ）」【参考①】に加盟します。

1 加盟の発表について

日時	令和5年6月19日（月）午前10時30分（10分程度）
場所	横浜市役所 31階 ホワイエ
出席者	UNHCR駐日代表 伊藤 礼樹 様 横浜市長 山中 竹春
内容	署名・写真撮影・両代表挨拶

2 加盟後の取組について

6月20日の「世界難民の日」に合わせた横浜市庁舎のブルーライトアップを実施します。

また、難民をはじめとした地球規模の課題に対する理解を深めていただくため、UNHCRと連携したパネル展などを実施していく予定です。



横浜市庁舎における
ブルーライトアップ（イメージ）

6月20日は国連が定める「世界難民の日」です。故郷を追われた人々への連帯の気持ちを示し、全国各地がブルーライトアップされます。横浜市庁舎もライトアップ予定です。「世界難民の日（2023）」詳細はこちら
（UNHCRホームページ <https://www.unhcr.org/jp/wrd2023-blue-light-up>）



3 横浜市とUNHCR

令和4年10月29日

横浜市国際平和講演会「世界の難民とUNHCRの支援」にて、
UNHCR駐日首席副代表 ナッケン鯉都（りつ）氏登壇

令和4年11月7日

フィリップ・グランディ国連難民高等弁務官横浜訪問



フィリップ・グランディ国連難民高等弁務官と
山中竹春横浜市長（令和4年11月）

【参考1】UNHCRのグローバルキャンペーン

「難民を支える自治体ネットワークCities #WithRefugees（シティーズ・ウィズ・レフュジーズ）」
2018年からUNHCRが進めているキャンペーン。自治体による難民問題に対する行動や支援の表明を通じて、紛争や迫害により故郷を追われた人々に対する連帯を示す活動。

2023年6月12日時点で世界55か国・287都市が加盟。

国内は9都市（東京都・広島市・文京区・渋谷区・瀬戸内市・札幌市・世田谷区・敦賀市・大村市）が加盟しており、横浜市は10都市目。神奈川県内で初めての加盟となる。

https://www.unhcr.org/jp/cities_with_refugees



【参考2】国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）

1950年設立。難民、国内避難民、無国籍者などを国際的に保護・支援するため、多様なパートナーと連携し、世界約135か国で活動。1954年と1981年にノーベル平和賞を受賞。

第8代国連難民高等弁務官（1991年～2000年）は緒方貞子氏。

（UNHCR：The Office of the United Nations High Commissioner for Refugees）

<https://www.unhcr.org/jp/>



※ご取材いただける場合は、6月16日（金）正午までに以下、お問合せ先までご連絡ください。

お問合せ先
国際局政策総務課担当課長 田中 美枝子 Tel 045-671-4700